



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール 上場取引所 東
 コード番号 9853 URL https://www.ginza-renoir.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮山 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡崎 裕成 TEL 03-5342-0881
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,935	△53.6	△1,224	ー	△1,206	ー	△1,105	ー
2020年3月期第2四半期	4,167	5.4	427	95.8	442	85.6	316	139.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,091百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 324百万円 (134.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△180.98	ー
2020年3月期第2四半期	51.92	51.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	6,674	4,517	67.1	732.73
2020年3月期	6,867	5,698	82.3	925.12

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,475百万円 2020年3月期 5,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	14.00	14.00
2021年3月期	ー	0.00			
2021年3月期（予想）			ー	ー	ー

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2021年3月期の配当予想については現時点で業績の予想が困難なため未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその長期化懸念により、業績に与える影響を現時点では適正かつ合理的に数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想につきましては、予測可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,252,004株	2020年3月期	6,252,004株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	143,526株	2020年3月期	143,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	6,108,478株	2020年3月期2Q	6,104,478株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来についての記述等に関する注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動抑制の影響を受けながらも、各種政策により経済状況は緩やかな回復傾向にあります。国内外の新型コロナウイルス感染症の拡大は長期化しており、先行きは依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが属する喫茶業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛や営業時間の短縮要請、また、テレワーク等の働き方の変化による来店客数の減少により、依然として厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、お客様や従業員の安心安全を考慮し、衛生管理の徹底とソーシャルディスタンスの推進等の感染防止への取り組みを引き続き実施してまいりました。また、外食から中食への需要シフトに伴うテイクアウトの実施、人員配置の効率化等、各種経費削減にも努めてまいりました。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

店舗数につきましては、2020年7月池袋西口店を新規オープンし、2020年6月カフェ・ルノアール日本橋三越前店を業態変更し、日本橋三越前店としてオープンいたしました。また、2020年4月新宿アルタ横店、銀座1丁目柳通り店、5月四谷店、6月新宿西口エステックビル店、7月箱根湯本駅前店を改装オープンいたしました。そして、2020年6月カフェ・ルノアールニュー八重洲北口店、千駄ヶ谷駅前店、ミヤマ珈琲熊本光の森店、8月ニューヨーク・カフェ町田店、ミヤマ珈琲グランエミオ大泉学園を閉店いたしましたので112店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,935百万円(前年同期比2,232百万円減)となり、営業損失は1,224百万円(前年同四半期は営業利益427百万円)、経常損失は1,206百万円(前年同四半期は経常利益442百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,105百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益316百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、6,674百万円となり前連結会計年度末に比べ192百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産が131百万円、流動資産のその他が88百万円減少したことによるものであります。

負債は、2,157百万円となり前連結会計年度末に比べ987百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1,420百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は4,517百万円となり前連結会計年度末に比べ1,180百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が1,191百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は67.1%(前連結会計年度末は82.3%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,040百万円となり前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,190百万円の支出(前年同期は310百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を1,093百万円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは137百万円の支出(前年同期比37百万円減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が273百万円あったものの、敷金及び保証金の回収による収入が174百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,330百万円の収入(前年同期は89百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入れによる収入が1,420百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、外出自粛による来店客数の激減等将来予想が困難な状況にあります。現時点では経営成績に与える影響を合理的に見積もることができないため、2021年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定としております。

また、上記の通り2021年3月期の業績予想を未定の観点から、配当予想につきましても未定といたします。今後、予想可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,037,221	2,040,543
売掛金	99,911	83,394
商品	21,862	17,911
その他	266,810	177,822
流動資産合計	2,425,805	2,319,671
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,682,167	3,650,575
減価償却累計額	△2,595,747	△2,517,250
建物(純額)	1,086,419	1,133,325
工具、器具及び備品	369,933	353,491
減価償却累計額	△309,544	△301,824
工具、器具及び備品(純額)	60,388	51,667
土地	518,173	518,173
その他	2,454	10,044
減価償却累計額	△2,454	△2,454
その他(純額)	0	7,590
有形固定資産合計	1,664,982	1,710,756
無形固定資産		
ソフトウェア	4,232	3,363
無形固定資産合計	4,232	3,363
投資その他の資産		
投資有価証券	332,387	346,020
長期貸付金	64,398	62,231
敷金及び保証金	1,867,020	1,705,311
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	216,804	217,424
その他	192,224	210,173
投資その他の資産合計	2,772,835	2,641,160
固定資産合計	4,442,049	4,355,281
資産合計	6,867,855	6,674,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,876	59,977
短期借入金	80,000	1,500,000
未払法人税等	128,833	49,525
賞与引当金	83,000	61,660
株主優待引当金	20,114	10,137
その他	488,019	179,917
流動負債合計	870,844	1,861,217
固定負債		
役員退職慰労引当金	102,632	104,204
退職給付に係る負債	161,344	160,688
その他	34,821	31,321
固定負債合計	298,798	296,215
負債合計	1,169,642	2,157,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,777	1,063,777
利益剰余金	3,938,784	2,747,762
自己株式	△111,095	△111,095
株主資本合計	5,663,148	4,472,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,055	3,742
その他の包括利益累計額合計	△12,055	3,742
新株予約権	3,840	3,840
非支配株主持分	43,279	37,810
純資産合計	5,698,212	4,517,519
負債純資産合計	6,867,855	6,674,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,167,270	1,935,183
売上原価	472,127	247,584
売上総利益	3,695,143	1,687,599
販売費及び一般管理費	3,268,023	2,912,200
営業利益又は営業損失(△)	427,119	△1,224,601
営業外収益		
受取利息	2,372	2,334
受取配当金	1,201	1,273
受取家賃	14,570	14,159
受取保険料	497	1,868
その他	2,558	7,849
営業外収益合計	21,200	27,485
営業外費用		
支払利息	237	2,110
不動産賃貸費用	2,033	1,929
撤去費用	266	2,320
その他	2,999	2,976
営業外費用合計	5,537	9,335
経常利益又は経常損失(△)	442,783	△1,206,452
特別利益		
受取補償金	73,878	118,250
特別利益合計	73,878	118,250
特別損失		
固定資産廃棄損	2,552	5,699
特別損失合計	2,552	5,699
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514,108	△1,093,901
法人税等	194,563	13,471
四半期純利益又は四半期純損失(△)	319,545	△1,107,373
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,622	△1,869
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	316,923	△1,105,503

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	319,545	△1,107,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,071	15,798
その他の包括利益合計	5,071	15,798
四半期包括利益	324,616	△1,091,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,994	△1,089,705
非支配株主に係る四半期包括利益	2,622	△1,869

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514,108	△1,093,901
減価償却費	76,685	72,738
長期前払費用償却額	11,899	13,035
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,655	1,572
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,230	△21,340
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△11,106	△9,976
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,354	△655
受取利息及び受取配当金	△3,574	△5,097
支払利息	237	2,110
固定資産廃棄損	2,552	5,699
受取補償金	△73,878	△118,250
売上債権の増減額(△は増加)	△4,169	16,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	337	3,951
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,646	△10,899
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,882	△63,397
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,859	15,935
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△63,315	△129,481
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△3,500
その他	△20,764	△5,112
小計	383,404	△1,330,051
利息及び配当金の受取額	4,579	6,140
利息の支払額	△237	△2,940
補償金の受取額	—	192,128
法人税等の支払額	△77,707	△55,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,038	△1,190,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26,723	—
定期預金の払戻による収入	26,722	—
長期貸付金の回収による収入	2,675	2,675
有形固定資産の取得による支出	△153,521	△273,576
敷金及び保証金の差入による支出	△14,421	△27,259
敷金及び保証金の回収による収入	—	174,512
その他	△9,620	△13,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,888	△137,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,420,000
リース債務の返済による支出	△1,048	—
配当金の支払額	△85,215	△85,455
非支配株主への配当金の支払額	△3,600	△3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,864	1,330,944
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,285	3,322
現金及び現金同等物の期首残高	2,001,405	2,037,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,046,690	2,040,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。